

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜）

小 論 文

中等教育教員養成課程
中等教育プログラム 音楽専攻

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙に記入すること。
2. 解答紙は、横書きとすること。
3. 解答紙及び下書き用紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔問〕 中学校学習指導要領音楽（平成 29 年告示）には、音楽科の学習において、「音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること」が示されています。またそのことについて、以下のように解説されています。これを読んで、あとの（問 1）に答えなさい。

音楽によって喚起された自己のイメージや感情、思いなどを他者と伝え合ったり、他者がどのようなことを意図しているのかをよく考えて、それに共感したりするためには、言葉によるコミュニケーションが必要となる。

音楽活動は、本来、音によるコミュニケーションを基盤としたものであり、言葉によるコミュニケーションとは異なる独自の特質をもっている。一方、音楽科の学習においては、言葉によるコミュニケーションを適切に位置付けることによって、音や音楽によるコミュニケーションを充実させることができる。したがって、生徒が音楽に関する言葉を用いて、音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図などを相互に伝え合う活動を取り入れることによって、結果として、音によるコミュニケーションが一層充実することに結び付いていくように配慮することが大切である。

出典：文部科学省、『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説音楽編』，教育芸術社，2018 年，pp.100-101.

（問 1）音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導を工夫することについて、その意義及び配慮する点を、上記の解説文とあなたの学習経験や音楽経験を踏まえて、800 字以内で述べなさい。